





# 集まることで大きな力に

## 「子育て支援をする方の交流会」開催

さる三月十八日、「ミニミニ子育て平野」にて、平野区民生委員会との共催で子育てに関する様々な方との交流会を行いました。

親だけで子どもを育てるのではなく、地域で子育てする大切さが叫ばれている今日、支援者どうしの交流会は活動が広がるきっかけづくりとして、収穫のある交流会となりました。

公園で指遊びを行う、ことが話し合われました。

絵本を読み聞かせる、親子で参加できるイベントを企画するなどの各ボランティアグループや子育て支援活動に興味のある個人ボランティア、また、地域で親子の集える場所である子育てサロンを立ち上げたいと民生委員などが集まりました。



「どんな活動してる?資金は?」みんな話に真剣です。

◇活動場所をどのように確保するのか?  
地元にある公園や公共機関、地元の空きスペースがあれば、交渉してはどうでしょうか。

活動目的などを明確にして相談していきましょう。

◇もし、子どもにケガをさせてしまったらどうしよう。  
ボランティアアビュローで受付しているボランティア行事保険や行保保険を利用してはどう

でしょうか?  
お問い合わせ:平野区ボランティアアビュロー  
☎六七九五―二二〇〇

# 子育て支援活動のポイント

～一緒に親子育ちを見守り、一緒に喜ぼう～

子育て支援をする方の交流会では、講師山本瑛子氏から活動を行う際のちょっとしたポイントをお話いただきました。

◎子育てに自身をなくした親の気持ちを受け止めよう。  
感情を思いっきり出してもらう。もちろん、聞いた情報は秘密です。

「無理なくていいよ。そのまま大丈夫。誰かの手をかりよう。」

◎どうしたいかは、親本人に決めてもらおう。  
答えだけを求めているのでしょうか?話を聞いてもらうだけで落ちつく時もありますね。

「私のときはこんな方法があったよ。もっと他の方法もあるよ。どうしたい?」

◎親子のいい気持ちを育てよう。  
子どもの気持ちを無視していきなり叱るのは、どうでしょうか。子どもにも言い分はあるはずです。

「そうね。～したかったのね。」



◇輪の中に出て来れない人にも関わらうといいのかわからない。  
無理強いて外に出てきてもらうのではなく、

まずはあいさつから始めて、子育て情報を伝えるなど安心できる関係を作りたいです。

参加者からは、「区内でこんなにもいろいろな活動をしているんだ」「同じ地域内で活動している人がいて心強いです。」「行事をする際には、来て活動してね。」「他のグループ情報などが載った情報誌などもあればいいな」「定期的な情報交換の場が欲しいな」などの積極的な意見が出されました。

このように、「子育てを地域で」といった同じ想いをもった人がつながり、活動の幅が広がることで身近な地域で気軽に遊べる場や子育て支援ができる場が増えていくことが期待されています。

# 「区アクションプランの策定について」 それって何?私達に関係あるの?

何か生きがいを探したいなあ。

家の周りに花や緑が欲しいな。

親子で安心して遊べる場があるのかな?

公園や道路にゴミが多いなあ。

近所に暮らしている一人暮らしのお年寄りが困っている。

障害者に情報が入りにくいね。

平野区にお住まいのみなさん。平野区で働いているみなさん。みなさんが主役です!!

区民のみなさんが、日々感じている課題を出しあいながら、それらを解決するために、お互いに何ができるのか、平野区にお住まいのみなさんが中心となって、お互い様の活動を進める仕組みづくりを考えます。

(調整役:平野区役所、平野区社会福祉協議会)

参画

## 平野区アクションプラン策定 (地域福祉活動計画)

連携・支援

大阪市地域福祉計画

策定主体:大阪市

- 公的責任のしくみづくり
- 公私協働のしくみづくり

大阪市地域福祉活動計画

策定主体:大阪市社会福祉協議会

- 民間活動の推進
- 参画と協働の手法の提言

連携

なるほど!行政だけで作る計画とは違って、私たち住民が考えることで、より具体的な内容やその仕組みづくりができるんだ。一人一人の声は、大事だね。案外大人だけの意見じゃなく、子どもの意見も面白いかも。ぜひ、プランの策定について注目していこう。



平成十五年十二月から平成十六年三月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。

- ◆善意銀行への預託◆  
《金銭預託》医療法人松仁会、松井記念病院、平野区たばこ会、橋口頼通、豊田末吉、井上文彦、岡本登、居宅介護支援事業者連絡会、匿名(一名)。(順不同、敬称略)

ご寄付ありがとうございます。



# 介護・子育て達人グッズ大募集!!

介護や子育て中に、何か不便と感ずることはありませんか?そこから工夫して、使いやすい便利グッズが生まれます。介護や子育てに関するあなたの工夫を募集します。

- ◆募集内容:暮らしの中でひと工夫しているもの
- ◆応募方法:氏名、住所、年齢、便利グッズの写真、紹介文を添えて、ここにセンターまでお申し込みください。(平野東2-1-30)
- ◆応募対象:区内在住、在勤の方ならどなたでも。年齢は問いません。
- ◆応募期間:9月1日(水)~9月30日(木)  
※秋に開催する「くらしのくふうフェスティバル」で展示し、入賞者には、記念品を進呈します。

# 車いす対応福祉車両の3台目購入!

平成十年度より開始した送迎サービス事業も六、七、八、九、十、十一、十二、と年々利用される方も増え、ご希望にも応えられよう、この度日本財団の助成と善意銀行の払い出しにより3台目を購入しました。車の運転や介助を担うボランティアの募集もしていますので、興味のある方はご参加ください。



連絡先(六七九五―二二〇〇)